



「コロナ禍により、ICT (Information and Communication Technology) を活用した教育が注目されている。また、2020

年度から導入された学習指導要領では、「生きる力」を育むことが求められている。

本書は、2019年GTP (Global Teacher Prize) のトップ10にノミネートされた著者が、ICTを活用した英語学習の実践を踏まえて、「グローバル化社会、AI時代を生きる子ども達に必要な教育」について著したものである。

彼の専門は英語であるが、勤務先の私立小学校ではICT教育も担当している。そして、「これまでの『問題を解く力(知識)重視』から『問題を解く力(経験)重視』へと変わる。その背景にあるのも、テクノロジーの進歩である」ことを述べている。

ICTを活用した英語の実践としては、「家庭でできる新時代の英語学習法」で、ユーチュ

正頭英和 著  
1650円 講談社  
☎0120-29-9625



「教える者が変わる」  
「変える教科書」  
「変わる未来」  
「子どもが変える未来」  
「英語の教科書」

ーブ「アメリカの子供向けのテレビアニメシリーズ」を提示し、意味のある内容で学ぶことが効果的であり、「イブラス」で英語力を伸ばすことから、「字幕機能」がついている教材では、最初に字幕機能で「オン」にして子ども達が意味を理解した後、「オフ」に切り替えて英語を聞くこと、一方、「絵本の読み聞かせ」では「Oxford Reading Tree」教材のCD、音声ファイル、音声ペンを活用し、実際の能力よりも少しだけ易しいレベルのテキストを使用して、「音読」暗唱「書く」学習を行うことで、英語力は確実に伸びる」と等、第二言語習得理論を踏まえて具体的に紹介している。

「英語という新たなスキルを身に付けて、自信が持てる人間」「既存の正解に疑問を持ち、自ら問いを立てられる人間」「疑問を持つ力」「好奇心」を育てることが重要であり、「大人が変わることによって子どもが変わる」という著者の主張が印象的であった。(愛知教育大学教授・高橋美由紀)